

平成30年度

第6回銚田市地域公共交通会議次第

日 時：平成31年2月4日（月）

午前10時～12時

場 所：銚田市福祉事務所2階 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議内容

- （1）前回の質問事項について
- （2）銚田市公共交通将来ビジョン（案）について
- （3）公共交通施策（案）費用シミュレーションについて
- （4）移動手段確保のための施策の事例集について
- （5）市長への報告について
- （6）平成31年度の予定について

4 閉 会

○ 市長への報告

※終了後、写真撮影を行います。

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 席次表
- ・ 資料1 銚田市公共交通将来ビジョン（案）
- ・ 資料2 銚田市公共交通将来ビジョン（案）参考資料
- ・ 資料3 公共交通施策（案）費用シミュレーション
- ・ 資料4 移動手段確保のための施策の事例集



## (1) 前回の質問事項について

## (2) 銚田市公共交通将来ビジョン（案）について

### ①パブリック・コメントの実施結果について

#### 【募集期間】

平成30年12月26日(水)から平成31年1月25日(金)午後5時まで

#### 【閲覧場所】

- ・銚田市役所まちづくり推進課
- ・銚田市旭総合支所
- ・銚田市大洋総合支所
- ・市ホームページ

#### 【件数】

0件（ホームページ閲覧件数：126件）

### ②将来ビジョン（案）について

別添資料1「銚田市公共交通将来ビジョン（案）」参照

別添資料2「銚田市公共交通将来ビジョン（案）参考資料」参照

## 【】

No	頁	変 更 前	変 更 後
1	1 頁	新規追加	「はじめに」を追加
2	63 頁	公共交通施策⑧ 地域ごとの自主的な送迎システムの構築・支援  将来にわたり持続的に市民の移動手段を確保するため、今まで一部の地域で行われていた地域の住民同士の送迎をシステム化し、他の地域にも広げていくことを検討する。地域住民がボランティアとなって移動に困る地域の方の送迎を行う送迎システムの導入に向け、情報収集・研究し、システム構築の支援をしていく。併せて、システムの利用促進・利便性向上のため、配車アプリ等のICT導入も他市事例等を参考にして検討する。	公共交通施策⑧ 地域ごとの自主的な送迎システムの構築・支援  現在、地域で行われている住民同士による送迎を持続的な市民の移動手段としていくため、助け合いの機運の醸成に努め、市内に広げていく。 さらに、将来的には配車アプリ等のICT導入なども含めて事例研究等を行い、住民同士による送迎システムの構築・維持に必要な支援についても検討する。
3	66 頁	新規追加	「参考資料 ①策定体制」を追加
4	68 頁	新規追加	「参考資料 ②策定経緯」を追加

### (3) 公共交通施策（案）費用シミュレーションについて

別添資料3「公共交通施策（案）費用シミュレーション」参照

#### 【変更内容】

##### ○タクシー助成券（①～④）

- ・初乗り料金（670 円）の場合の試算を追加。

##### ○デマンド型乗合タクシー（⑤、⑥）

- ・利用料金に 500 円の場合の試算を追加。

##### ○デマンド型乗合タクシーを一般タクシー車両と併用して導入した場合（⑥）

- ・1 台当たり平均乗車人数 2.5 人で試算した結果を記載。
- ・運行経費を銚田市乗合自動車の年間走行距離、運行台数及び利用者数から試算する方法に変更。

##### ○コミュニティバス

- ・1 ルート及び3 ルートで試算した結果を記載。
- ・1 周 30km の目安となるルートの図を追加。

### (4) 移動手段確保のための施策の事例集について

別添資料4「移動手段確保のための施策の事例集」参照

## (5) 市長への報告について

平成31年2月4日

鉾田市長 岸田 一夫 様

鉾田市地域公共交通会議  
会 長 寺 門 利 幸

### 鉾田市公共交通将来ビジョン（案）について（報告）

「鉾田市公共交通将来ビジョン（案）」について、本会議において慎重に協議を重ね、ビジョン（案）をまとめたので、下記の意見を付して報告する。

#### 記

#### 1 報告の内容

本会議は、鉾田市公共交通将来ビジョンの策定にあたり、全6回にわたる会議を開催し、「鉾田市にとって望ましい公共交通のあり方」となる鉾田市公共交通将来ビジョン（案）をとりまとめた。

貴職におかれましては、ビジョン（案）の内容を協議いただき、鉾田市公共交通将来ビジョンを決定されますよう報告する。

#### 2 本会議からの意見

- (1) 高齢化による高齢単身世帯の増加や広域な可住地の地域特性などを踏まえた公共交通網の形成が求められる。鉄道、路線バスなど既存の公共交通やデマンド交通だけではなく、地域住民の共助による移動手段など多様な可能性を視野に入れ、地域による移動ニーズや市民特性等の状況に合った具体的な公共交通施策を検討されたい。
- (2) 限られた財源の中で、公共交通を維持・拡充していくためには、市民や事業者の協力及び理解が必要であるという意識の醸成に努められたい。

## (6) 平成31年度の予定について

平成31年2月に策定予定の「銚田市公共交通将来ビジョン」を踏まえ、公共交通の課題の解決に向けた具体的な公共交通施策等の検討を進め、平成32年3月までに「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、市が策定を進める「地域公共交通網形成計画」について協議を行います。

### ① 地域公共交通網形成計画について

網形成計画とは、「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにするもので将来ビジョンに加えて、その実現に向けた具体的な公共交通施策等の事業体系を定めたマスタープランとしての役割を果たすものです。

国が定める基本方針に基づき、市が協議会を開催しつつ、交通事業者等との協議のうえで策定します。

### ② 計画策定の進め方

#### ア 地域住民のニーズ把握

銚田市公共交通将来ビジョンの策定に向けて行った公共交通利用者等へのヒアリングにより当市における公共交通の現況、課題及び基本方針等について取りまとめました。その結果を踏まえたうえで市民や公共交通利用者にアンケート調査を実施し、全市的な市民の日常の移動特性（行先、時間帯、自宅や目的地から公共交通までの移動手段など）や公共交通に関する意向を把握します。

- ・市民アンケート
- ・公共交通利用者アンケート

#### イ 公共交通施策の検討

将来ビジョンの実現に向けて、計画目標や数値目標、評価指標等を設定するとともに、公共交通施策の具体化を図ります。

施策の具体化にあたっては、将来ビジョンで定めた基本方針や公共交通施策及びアンケート調査により得られる詳細な市民の移動需要を踏まえて検討します。

#### ウ 推進方策の検討

計画目標達成のためには着実に施策を展開していくことが重要であるため、計画の推進体制や進行管理の内容など、推進方策を検討します。

### ③ 会議の開催予定について

網形成計画の策定に向けて、具体的な計画内容等の協議・議論をするため、地域公共交通会議を5回程度開催する予定です。

平成30年度鉾田市地域公共交通会議 委員名簿

No.	委員区分	区 分	氏 名	役職等	H30
1	第1号	鉾田市副市長	寺門 利幸	鉾田市副市長	新規
2	第2号	一般乗合旅客自動車運送事業者	大槻 勝男	関鉄グリーンバス(株)鉾田営業所長	継続
3	第2号	一般乗合旅客自動車運送事業者	小瀧 憲二	茨城交通(株)運輸部運輸統括課長	新規
4	第3号	一般貸切旅客自動車運送事業者	白川 正隆	(有) 出久根観光	新規
5	第4号	一般乗用旅客自動車運送事業者	代々城 正	鉾田観光バス(株)	継続
6	第5号	社団法人茨城県バス協会	澤畠 政志	社団法人茨城県バス協会 専務理事	継続
7	第6号	茨城県ハイヤー協会	鬼澤 秀通	茨城県ハイヤー協会 専務理事	継続
8	第7号	鉾田市連合民生委員児童委員協議会	大庭 作藏	会長	新規
9	第7号	鉾田市連合民生委員児童委員協議会	栗原 久彌	副会長	新規
10	第7号	鉾田市連合民生委員児童委員協議会	菅谷 與志雄	副会長	新規
11	第7号	鉾田市鉾田地区民生委員児童委員	白井 律子	副会長	新規
12	第7号	鉾田南中学校PTA	豊島 あゆみ	副会長	新規
13	第7号	鉾田北中学校PTA	高須 江美子	副会長	新規
14	第7号	旭中学校PTA	石崎 智恵	副会長	新規
15	第7号	大洋中学校PTA	神成田 佳代子	副会長	新規
16	第7号	鉾田市議会議員	亀山 彰	総務企画常任委員会委員長	新規
17	第8号	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局	富澤 雄一	首席運輸企画専門官(企画調整)	継続
18	第8号	国土交通省関東運輸局茨城運輸支局	皆川 誠司	首席運輸企画専門官(輸送)	新規
19	第9号	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	中村 正之	関東鉄道労働組合書記長	継続
20	第10号	茨城県鉾田警察署	圓城寺 利弘	茨城県鉾田警察署交通課長	継続
21	第12号	鹿島臨海鉄道株式会社	鈴木 哲也	代表取締役副社長	継続
22	第12号	株式会社 セイミヤ	額賀 瑞穂	常務取締役営業企画部長	新規
23	第1号	鉾田市職員	関谷 公律	総務部長	新規
24	第1号	鉾田市職員	金沢 覚	健康福祉部長	新規
25	第1号	鉾田市職員	鈴木 賢	産業経済部長	新規
26	第1号	鉾田市職員	小沼 富男	教育部長	新規
27		オブザーバー	久保田 博文	茨城県政策企画部交通政策課長	継続